



パフェ作り
おいしくできて
よかった～

お話を聞いたり、
写真も撮ったり、
新聞づくりは
たいへん！

クルマの修理は
力があるけど、
たのしかった！



まちのひとこま

田辺市 20周年記念事業

Out of KidZania in たなべ

1月24日㊥・25日㊤ ガーデンホテルハナヨアリーナ他





たなべっこ すまいる

就学前の4月生まれの
お子さんの写真を募集中!!
締切りは3月10日です



3月生まれのお子さんをご紹介します



すずきりゆうせい
鈴木 琉生ちゃん (1歳)
文里



はらひより
原 日和ちゃん (2歳)
東陽



しょうた ひおり
庄田 陽織ちゃん (3歳)
秋津町



てるいみなど
照井 湊ちゃん (1歳)
むつみ



なかおかにこ
中岡 優心ちゃん (3歳)
中辺路町栗栖川



やまもと めい
山本 芽依ちゃん (4歳)
秋津町



いとう ひなの
井藤 陽菜乃ちゃん (5歳)
あけぼの



おがわ ふうか
小川 楓禾ちゃん (4歳)
中芳養

広報たなべ

令和8年3月1日発行 No.250
編集・発行 田辺市企画広報課

〒646-8545 和歌山県田辺市東山一丁目5-1
☎ 0739 (26) 9963 0229 (22) 5310

✉ kikaku@city.tanabe.lg.jp
☑ <https://www.city.tanabe.lg.jp/index.html>

未来へのつなぐ道
JUNCTION TO THE FUTURE 田辺市

アオハル 高校生レポーター - SDGs を考えて -

「地域の人々に木の温かさを」

写真・文 田辺工業高等学校 後藤 優日



今回、私は約70年前から木材を取り扱う老舗企業の吉田哲也さんにお話を伺いました。

ここでは、製材の過程で生じるおがくずや端材は廃棄せず、木材を乾燥させるボイラーの燃料や肥料などに再利用されており、資源を無駄にしない工夫が日々行われています。

また、以前は手作業が多く、体力的な負担が大きかったそうですが、機械の導入や作業方法の見直しによって、働きやすい環境づくりを進めているとのことでした。

インタビューを通して、環境への配慮だけでなく、地域の人々とのつながりを大切にしているということが印象的でした。「木材を身近に感じてほしい」との思いから、地域のイベントに積極的に参加したり、小学校の校舎に自社の木材を

使用したりするなど、日常生活の中で木の温かさに触れる機会を生み出しています。このような地域に根ざした取組を通して、持続可能な社会の実現に貢献していると感じました。



端材は燃料として使用するため、バイオマスボイラーへと送られています。